

平成28年 省エネルギー基準対応

自己適合宣言書文書番号：LXEC-1607

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書（附属書）：DWG021

作成：2017年5月8日

更新：2021年5月10日

株式会社LIXIL

サッシ・ドア事業部 ドアSBU

※1.各熱貫流率が、以下①、②のいずれに準拠しているかを掲載しています。

- ①「建具とガラスの組み合わせ」による熱貫流率
- ②試験、計算による熱貫流率 ※2

※2.試験は「JIS A 4710」、計算は「JIS A 2102」または国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「熱貫流率及び線熱貫流率 ドアの簡易的評価」に基づく代表試験体の熱貫流率です。  
代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に基づきます。

勝手口引戸Ⅱ

枠と戸の仕様	対象型番	開閉形式	ガラスの仕様	ガラス中央部の熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> K)]	開口部の熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> K)]		開口部の日射熱取得率(η)		性能根拠 ※1	
					遮蔽物無し	風除室あり	遮蔽物無し	風除室あり	①	②
金属製建具	PGタイプ	一本引き	障子：Low-E複層（ガス層10mm未満または不明）	—	3.49	2.59	0.51	0.47	○	
			障子：Low-E複層（空気層7mm未満または不明）	—	4.07	2.90	0.51	0.47	○	
			障子：複層（空気層8mm未満または不明）	—	4.65	3.18	0.63	0.58	○	
	SGタイプ	一本引き	障子：単板ガラス	—	6.51	3.95	0.70	0.65	○	